



Personal MBA

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

利益という必達の要求が企業の使命である。これらは優れた製品とサービス企業の内実において、唯一実現が可能である。

一切の偽善性を排除した企業経営は完全に正しいのである。

厳しさを失うとき、企業は自己を失う。

競争原理は必ず勝者と敗者を生むのである。グローバリゼーションは世界の統一であり、それら現実にはビジネスにおける勝者と敗者を有するのである。

経営者は決定を有する、そのため企業を決定するのである。それらは正しい分析において企業経営は可能となるのである。

分析における理解は、唯一企業経営を可能とするのである。それを得ない限り企業経営は、独善的になる。

正しい経営者は知るものである。その理解が正しい現実を与えるのである。

最も優れることは最も努力を行うことである。

能力は、現実を与えることができることである。これらは社内における学習と教育において実現できるのである。

グローバル市場はその優劣を製品とサービスにおいて与えるのである。その基準における企業経営は唯一健全な経営である。

経営者はその正しい判断において企業に未来を与えることができる。